

女性にとってよいまちは みんなにとってよいまち

～持続可能なまちづくりを考える～



すべての人が個人として尊重され、性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、健やかに安心して自分らしくいることができる持続可能なまちづくりに大切なものは何か。これまで、様々な国でSDGsの理念に即したまちづくりに取り組んでこられた元国連ハビタット親善大使のマリ・クリスティーヌさんと、一緒に考えてみませんか。様々な分野の施策をとおして、まちづくりに携わる行政職員の方、また、地域の課題解決に取り組むNPOや市民の方にとって、業務や活動に役立つヒントがつまっています。ぜひ、ご参加ください。



異文化コミュニケーター
元国連ハビタット親善大使

マリ・クリスティーヌ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



2019
11/15(金) 14:30～16:45
(受付 14:00)

ドーンセンター (大阪府立男女共同参画・青少年センター)

パフォーマンススペース(1F)

大阪府中央区大手前1丁目3番49号(裏面地図参照)

参加費無料
要申込

定員 60名程度

主催 (一財)大阪府男女共同参画推進財団(ドーン財団)

(公財)大阪府市町村振興協会(おおさか市町村職員研修センター)

女性にとってよいまちはみんなにとってよいまち

～持続可能なまちづくりを考える～

第1部

講演

(14:30～15:50)

講師 **マリ・クリスティーヌ**(異文化コミュニケーター、元国連ハビタット親善大使)

第2部

対談

(16:00～16:45)

講師 **マリ・クリスティーヌ**聞き手 **白井 文**((一財)大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事、前尼崎市長)

マリ・クリスティーヌ

異文化コミュニケーター、東京女子大学特任教授、元国連ハビタット親善大使、AWC(アジアの女性と子どもネットワーク)代表。東京工業大学大学院理工学研究科社会工学専攻修士課程修了。4歳まで日本で暮らし、その後諸外国で生活。生まれながらの環境から学んだ幅広い視点から、都市計画・まちづくり(環境整備、地域社会のあり方、過疎化、活性化、高齢化に対する取り組みなど)、女性問題、教育問題、人権問題、ボランティアのあり方、子どもの人権などに関する講演活動をはじめ、多方面にわたる活動をこなす。最近、乳がん予防、早期発見のための、企業のCSRアドバイザーとしても活動している。



会場へのアクセス



白井 文(しらい あや)

((一財)大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事、元尼崎市長。1960年尼崎市生まれ。航空会社の客室乗務員や人材コンサルタントを経て、1993年から尼崎市議会議員。2002年に市長選に出馬。現職を破り、兵庫県内で二人目、全国最年少(当時)の女性市長に。2010年の市長選挙には出馬せず、同年12月で任期満了。現在も尼崎市在住。



申込書

FAX 06-6910-8624

E-mail jigyo@dawn-ogef.jp

フリガナ 氏名	
所属・勤務先	
都道府県	市町村
電話番号	
E-mail	
講師への質問、テーマについて関心のあること等、ご自由にお書きください。	

※お申込みにあたってお預かりする個人情報は、本講座以外の目的で使用することはありません。



申込み・問合せ先

ドーン財団(一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団)

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15 大手前センタービル12F

TEL 06-6910-8615 / FAX 06-6910-8624 / Email jigyo@dawn-ogef.jp

URL https://www.dawn-ogef.jp